

大島交流館

大島交流館はフェリーターミナルから歩いてすぐのところであり、入場無料です。この近代的な施設での展示は、沖ノ島と大島との間の深い歴史的なつながりを紹介しており、特に信仰の場としての中津宮と沖津宮遥拝所（拝殿）について詳しく説明しています。大島は周囲わずか 15km で人口約 700 人の小さな島で、島民の多くは漁業に従事しています。日々の暮らしが海次第の彼らにとって、宗像三女神は加護と豊漁のためにもとても大切な存在です。

大島交流館では、オリジナルの短編映画を三面スクリーンで上映しており、地元の人々の思いや、彼らの沖ノ島への気持ちを、心を動かす様なインタビュー（英語字幕付き）で伝えています。島民が毎年 8 月の七夕祭りのために作る装飾を施した竹灯りなど、地元の工芸品の例が展示されています。2 階には、代々受け継がれてきた地域の儀式を解説した展示や、ここ大島で発見された祭具の一部を展示しています。子どものコーナーでは、地元の小中学校の子どもたちが製作した島暮らしに関するビデオを上映しています。